

第34回神奈川心臓ペーシング電気生理研究会プログラム

日時： 平成17年9月2日(金)

会場： 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 4F 清流 I

横浜市西区北幸1丁目3番23号 TEL045-411-1111

会長： 菊嶋 修示 (昭和大学横浜市北部病院 内科)

一般演題(6:00p.m. - 6:50p.m.)

座長 原田 智雄 先生

(聖マリアンナ医科大学東横病院 循環器科)

1. 『うつ血性心不全をきたした慢性頻脈性心房粗細動に対し下大静脈-三尖弁間の解剖学的峡部のアブレーションが有効であった一例』

昭和大学横浜市北部病院 内科

内田奈名子、菊嶋修示、田口進

総合高津中央病院 内科

安達太郎、斉木由香

2. 『ATP10mg以上の急速静注で停止しえた、His 束近傍起源の心房頻拍の一例』

横浜市立みなと赤十字病院 心臓病センター内科

大庭景介、沖重 薫、馬屋原伸、小西正則、仲村健太郎、上原祐樹、倉林 学、
瑞慶覧貴子、脇本博文

3. 『QT 延長症候群および洞不全症候群・房室結節機能不全を伴う発作性心房細動の予防に心房中隔ペーシングが有効であった一例』

太田総合病院 内科

池上晴彦、本城千裕、井出幸子、都野晋一

4. 『濃厚な突然死の家族歴を有する洞不全症候群の1例』

昭和大学藤が丘病院 循環器内科

鈴木 昌、若月大輔、下島 桐、若林公平、東 祐圭、嶽山陽一

5. 『両心房複数起源を有する若年者発作性心房細動の一例』

横須賀共済病院 循環器センター

宮崎晋介、高橋淳、小堀敦志、桑原大志、横山泰廣、大東寛和、鈴木秀俊、
伊藤祐輔、佐藤明、野里寿史、疋田浩之、是永正義

休憩(6:50p.m. - 6:55p.m.)

ミニレクチャー(6:55p.m. - 7:35p.m.)

『ペーシングによる心房細動の予防』

座長 東 祐圭 先生
(昭和大学藤が丘病院 循環器内科)

石川 利之 先生
横浜市立大学附属病院 病態制御内科

休憩(7:35p.m. - 7:40p.m.)

特別講演(7:40p.m. - 8:40p.m.)

『流出路起源の心室頻拍のアブレーション』

座長 菊嶋 修示 先生
(昭和大学横浜市北部病院 内科)

内藤 滋人 先生
群馬県立心臓血管センター 循環器内科

懇親会及び医療機器展示 (8:40p.m. -) 4F『清流Ⅱ』